

CM 素材オンライン運用 個別テストのエンコーダー違い素材に関する情報共有状況

下記内容を 9/27(木)に業協制作取引小委員会より、日本アド・コンテンツ制作協会と日本ポストプロダクション協会とに共有。

◆個別テストに使用した素材の 10 桁コードとエンコーダー

- ① 【999A=15ED01】Adobe Premiere 2017 Mac
- ② 【999A=15ED02】Adobe Premiere 2017 Windows
- ③ 【999A=15ED03】Sony Catalyst Browse Mac
- ④ 【999A=15ED04】Sony Catalyst Browse Windows
- ⑤ 【999A=15ED05】Grass Valley EDIUS Pro8
- ⑥ 【999A=15ED06】Autodesk flame 2015
- ⑦ 【999A=15ED07】Avid MediaComposer 8.0
- ⑧ 【999A=15ED08】Telestream Vantage

◆個別テストにおける「トランスコーダー違いの素材」に関する各局の状況ヒアリング結果

前提：結果がヒアリングできたのは 15 局

凡例：○ = 問題なく取り込めた △ = ワーニングが出たが取り込めた × = 取り込めなかった

- ① ○ = 8 局 △ = 4 局 × = 3 局
- ② ○ = 8 局 △ = 4 局 × = 3 局
- ③ ○ = 6 局 △ = 0 局 × = 9 局
- ④ ○ = 6 局 △ = 0 局 × = 9 局
- ⑤ ○ = 15 局
- ⑥ ○ = 15 局
- ⑦ ○ = 15 局
- ⑧ ○ = 7 局 △ = 7 局 × = 1 局

◆サマリー

各放送局の設備メーカーにて取り込めなかったものを解析中、解析により仮に改修見込が立ったとしても改修まで時間を要する模様。

⑥の Autodesk flame 2015 は、flame からエクスポート(エンコード)した MXF ファイルが確実にソニーフォーマットチェックツールにて NG となるため、flame から XDCAM デッキ(PDW-F1600)にベースバンド出力し、そのディスク内 clip フォルダ中の MXF ファイルを抽出している。

そのため、上記放送局全てで問題なく取り込めた素材は ⑤ Grass Valley EDIUS Pro8 と ⑦ Avid MediaComposer 8.0 でエンコードされたもの。

それぞれのソフトの詳細な構成と設定は以下の通り。

⑤ Grass valley EDIUS Pro8.52.2293

使用したエンコーダー: Grass Valley K.K. EDIUS 8.5.2.2293

使用機材 : hp z800 ワークステーション Microsoft Windows7 Professional ServicePack 1

⑦ Avid MediaConposer 7.0.3.4

使用したエンコーダー: AVID TRMG 3.01

使用機材 : hp z800 ワークステーション Microsoft Windows7 Professional ServicePack 1

それぞれのエンコーダーの設定については下記参照。

XDCAM フォーマット

EDIUS 設定

XDCAM HD 422

出力先

XDCAM ドライブ

FTP

フォルダー

C:\Users\tech2\Desktop

参照...

一時ファイルに出力した後、FTPにアップロードする。

クリップ名

自動 (C****)

セグメントエンコード(S)

ビットレート(B) 50Mbps

品質/速度(Q) 最高画質

ClosedGOP(G)

オーディオ形式(A) 24bit/8ch

OK

キャンセル

XDCAM フォーマット

AVID 設定



以上